

International SOS～感染症のリスクと医療アシスタンス

日時：2015年6月2日（火） 17:30 -19:00

場所：帝京大学板橋キャンパス 大学本館 103号講義室

東京都板橋区加賀 2-1 1-1

講師：安藤裕一 医師 (Dr. Yuichi Ando)

(International SOS Japan, Medical Director,)

ウエ・ストッカー 医師 (Dr. Uwe Stocker)

(International SOS, Regional Medical Director)

講演の概要

近年、グローバル化のため、海外に出かける邦人が年間1500万人を超えているが、海外で事故・事件・急病に遭遇するケースも増えている。エボラ熱がマスコミを賑わしたのは記憶に新しいところである。また、ネパール大地震等の災害でも多くの人々が被災した。

今回の講演では、途上国における感染症・健康危機管理のリスクについて概説し、あわせて「医療アシスタンス」という渡航者を対象とした業務について説明を行うとともに、キャリアの選択肢としての可能性を含め参加者らと意見交換を行う。

講師の紹介

<安藤裕一> 日本及び豪州で移植外科医として勤務、国境なき医師団よりコートジボアールなどへ派遣経験あり。2004年より国際ナショナル SOS に勤務。渡航者への医療アドバイスや病院の手配、医療搬送のアレンジやエスコート、海外の医療のリスクに関するセミナーの演者や執筆などを手がける。

<Uwe Stocker> 1993年 University of Erlangen-Nuremberg 医学部卒業。イギリスで臨床医として活動後 2003年 International SOS に入社し、現在同社のインドネシア及び日本の Regional Medical Director として活躍している。

受講料：無料、申し込み：不要

問い合わせ：帝京大学 大学院公衆衛生学研究科
山本秀樹 (hideki-yamamoto@umin.ac.jp)